学校番号	306

平成 31 年度　福祉科

教科	福祉	科目	こころとからだの理解	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「こころとからだの理解」　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

人体の構造や、人の心の動き、人間の成長過程について関心を持ちましょう。
障がい者や認知症のある方の気持ちに寄り添い、理解しましょう。
事例検討を通して、障がい者や認知症のある方を取り巻く環境にある問題点を見つけ、改善点を見つけましょう。
プリント、ファイルの提出は遅れないようにしましょう。

2　学習の到達目標

自立生活を支援するために必要な、介護実践の根拠となる心理、人体の構造と機能、発達と老化、認知症及び障害に関する基礎的な知識を習得させ、さらに、知識だけではなく、介護実践に適切に活用できる能力を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人体の構造や人の成長に関心を持ち、また、人の気持ちに寄り添い、その気持ちを汲み取れる、実践的な態度を身につけている。	人を取り巻く環境の課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	人を支えていくための、さまざまな場面での対応力、および基本的な技術を身につけている。	人体の構造や心理、認知症や障がい、さらにそれに関する福祉に関する基礎的な知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 プリントの提出 レポート、発表 自己評価等	学習状況の観察 プリントの提出 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価等	学習状況の観察 プリントの提出 レポート、発表 事例検討 グループワーク 実技テストの結果 自己評価等	学習状況の観察 プリントの提出 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	こころとからだの基礎的理解 人間の成長と発達の基礎的理解	・こころのしくみの理解 ・からだのしくみの理解 ・発達とは ・老年期の理解と日常生活	○ ○	 ○	 ○ ○	○ ○	a:人体の構造、人間の成長について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:人間の成長過程での課題を見いだし、自分自身の成長に関連付けながら、その解決を目指して考え、判断する姿が見られる。 c:人間の発達課題に関する事例研究を通し、その発達段階に応じた生き方について検討する技術を身につけている。 d:人体の構造、人間の成長について知識をつけ、それに伴う課題について理解し、自分にとっても関係のある問題として捉えるための知識を身につけている。	・授業観察 ・プリント ・定期考査 ・自己評価
2	生活支援に必要なこころとからだのしくみの理解 認知症の理解	・生活動作に関するこころとからだのしくみ ・生活に関するこころとからだのしくみ ・高齢者と健康 ・認知症取り巻く環境 ・認知症の基礎的理解 ・認知症に伴う心身の変化と日常生活 ・認知症と地域サポート	○ ○ ○ ○	 ○	 ○ ○ ○	○	a:人間の衣食住や、体のはたらきについて関心を持ち。意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:さまざまな症例に関する課題を見いだし、その解決をめざして考え判断する姿が見られる。 c:事例検討などを通して認知症の方などの生き方について見当する技術を身につけている。 d:人間の体のはたらき、認知症について理解し、自身はその人たちを支えていくための知識を身につけている。	・授業観察 ・プリント ・定期考査 ・自己評価 ・事例検討

3	障がいの理解	・障がいの基礎的理解 ・生活機能障害の理解 ・障がいに伴う心身の変化と日常生活 ・障がいと地域生活支援	○ ○ ○	 ○	 ○ 	○	a:さまざまな障がいについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:障がいがある人たちの生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決を目指して考察する力を身につけている。 c:事例検討を通して、自分自身はどのような支援をしていくことができるのか、考える技術を身につけている。 d:さまざまな障がいについて理解し、その人を取り巻く環境の問題点を捉えるための知識を身につけている。	・授業観察 ・プリント ・定期考査 ・事例検討 ・自己評価

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。